

# MSA ぼうさいこくたい臨時号 ぱーとなーず

# 今防災を話そう



広がれ ワーク  
ショップの輪！

10月20日、名古屋コンベンションホールで開催した「ぼうさいこくたい」ワークショップ「今すぐ準備！マンション『在宅避難』」には、愛知県内の

ほか、関東や関西、九州からも多くの方が参加してくださいました。約50人が7つのグループに分かれて情報交換したり、知恵を出し合ったり。今回は、その熱い議論の様子を紹介します。

## まずミニ講座で基本を確認

最初に当会マンション管理士の麻生博さんが防災ミニ講座を行い、居住者それぞれがしっかり備える「自助」の大切さを強調しました。家具の固定や水、食糧の備蓄、家族との連絡方法の確認などです。

その上で重要なのが、居住者が協力して安全と財産を守る「共助」。被災後も自宅マンションで安心して暮らせるように「在宅避難」の準備を進めてほしい、と呼び掛けました。

ワークショップにあたっては、次のような前提条件を付けました。住んでいるのは、築20年、10階建て55戸の分譲マンションです。家族と8階に暮らしているあなたは、たまたま一人で在宅していましたが…

そこであなたは

台所、トイレの水を流してみました

料理中でしたが、ガスは自動停止し、感震ブレーカーの作動で電気も切れたのでそのままにしました

玄関にカギをかけエレベーターで1階へ行きました

ベランダから下の様子を確認しました

実は、これらの行動は、大地震直後には適切とは言えません。※詳しい解説は、当会ホームページのブログを参照してください。

## いよいよ話し合いスタート！

普段、どんなことが気になっていますか？ あなたのマンションでは、どんな取り組みをしていますか？ こうしたらいいのでは？ そのアイデアいい！ など、時間ぎりぎりまで議論が尽きませんでした。

参加者の方から寄せられた主な意見は、次のようなものでした。

202X年9月正午、  
大地震発生！

## こんな意見が出ました

まずは居住者の**防災意識を高める**。連絡体制も整備

管理組合から自治会へ、**安否確認・共助体制を拡大**。自治体からの情報収集も重要

安否確認方法として、「**無事です**」札を玄関先に出すことを決めておく

水や電気、ガスを使ってよいか、など**災害時のルール作り**を急ぐ

あいさつなど、**普段からのコミュニケーションが大切**。防災訓練は、楽しめるように工夫して実施した

悩みとしては、こんな声が聞かれました。

オートロックは災害時、手動にできるが、**空き巣**の標的にならないか心配

**外国人や高齢者世帯への対応**はどうすればいいか

**個人情報保護の問題が、居住者の安否確認の壁に**。名簿作り、管理をどうすればいいのか悩ましい

ワークショップ終了後も、熱心に話し込む参加者の輪があちらこちらにできました。また希望者にお渡しした自宅周辺の防災マップをさっそく確認する姿も見られました。



## ちょっと こぼれ話

ぼうさいこくたい事務局からは、ワークショップ終了後、10分で片づけるように、との指示があり、嵐のような撤収時間でした。非常時に、迅速に行動できるか試されていたのかも？

## ぼうさいこくたい報告

伊勢湾台風から60年を迎えることし、名古屋市で開かれたぼうさいこくたい2019（内閣府など主催）には、約15000人が来場。ワークショップのほか、プレゼンブースや屋外展示も充実しており、子どもから大人まで、楽しみながら防災への理解を深めていました。5回目となる来年は広島市で開催予定です。

日本赤十字社のマスコット「ハートラちゃん」が台風19号被災地への募金を呼び掛け。子どもたちに大人気でした



地震体験車に長い長い行列。震度7の揺れは見ていっただけで気持ち悪くなる激しさでした

液状化の仕組みを学ぶ装置。ハンドルを思いきりぐるぐる回すと、「ほら、建物が倒れちゃった」



## 出張ミニ防災セミナーのご案内

対象：分譲マンション居住者（3人以上）

内容：防災計画作成のポイント

時間：1時間半程度

料金：無料（交通費、資料代は別途）

※問合せは下記まで電話、ファクス、メールで、お気軽にどうぞ

## NPO法人マンションサポートあいち

〒468-0015

名古屋市天白区原2-3507

グランメールKAZU 2B

電話 052(804)4600

FAX 052(893)6620

Mail info@nagoya-mankansupport.jp

